



発行：令和5年1月

SUMA いるタイムズ

9号

発行：須磨区医療介護サポートセンター
住所：〒654-0047神戸市須磨区磯馴町
6丁目1番4号須磨区医師会内
TEL：(078) 735-0041
FAX：(078) 735-0194
コーディネーター 久保・坂口

謹賀新年

本年度のサポートセンターの研修は参集での研修も再開しています。参集・オンラインそれぞれのメリットを生かしながら研修を開催することで多職種連携の促進を目指していきます。皆様のご参加をお待ちしております。

研修報告

第18回在宅医療講座

がん末期患者の在宅看取りについて

座長 友岡泌尿器科医院 友岡義夫氏

講師：林山クリニック 院長 梁 勝則氏

日時：令和4年9月29日(木)16：30～17：30 場所：オンライン (ZOOM) 参加者：73名

参加人数はオンライン研修の中で一番多く、関心の高さがうかがえました。

講師からは、3つのタイプの終末期について（①がん②心不全や呼吸不全など③認知症や老衰）。在宅看取りは、不安になるまで、歩けなくなるまで在宅、最後まで在宅と、患者・家族はゆれながら成長・変容していく中での多職種支援について。看取り期の患者とのコミュニケーションの取り方、予後に沿った支援内容、急変時の事前説明と注意点について。また介護職向けに、看取りの経過と具体的な支援内容を教えていただきました。

疼痛緩和治療については、30年のご経験からの薬剤の使用方法和、緩和的放射線治療について、事例を用いて教えていただきました。

研修後アンケートでは、「多岐にわたる学びがあった」等反響は大きく、特にケアマネジャーや介護職からは「医療専門職でなくてもわかりやすい説明と優しい語りに引き込まれ大変勉強になった」「末期の方への言葉かけ家族対応について、迷っていたことへの道標となった」「在宅看取りが増え不安になることがある。今回学んだことをもとに、幸せな最期をお手伝いできるような微力ながら頑張りたいと思った」等、前向きに看取り支援に向かうことへの回答が多くありました。

令和4年度多職種連携検討会

コロナ禍における退院支援を病院と多職種で考えよう！

日時：令和4年10月20日(木)15：00～17：00 場所：須磨パティオホール 参加者52名

第1部 病院地域連携室・在宅多職種からの報告

テーマ「コロナ禍で退院支援はどのように変化したか

～各現場の現状と課題、病院・多職種にお願いしたいこと～

【病院地域連携室】神戸医療センター 北須磨病院 尾原病院

新須磨病院 明芳外科リハビリテーション病院

【多職種】医師 薬剤師 訪問看護師 訪問リハビリテーション (PT) 管理栄養士

ケアマネジャー あんしんすこやかセンター職員

第2部 事例検討

架空事例 「本人・家族の意向が異なる場合の退院支援について」

グループワーク：

①退院にあたり、在宅専門職・病院から提供して欲しい情報とどのような連携を望むか

②面会制限の中、家族と本人の意向が違う場合どのような意思決定支援ができるか

約3年ぶりの参集・対面での事例検討会を実施しました。コロナ禍においては、面会制限等でスムーズな退院時連携が困難となっているとの課題が挙がっていました。今回の研修を通し、それぞれの立場や職種における現状を多職種が理解し、事例を通して話し合うことで、よりよい退院支援の在り方について考えることができました。

研修後アンケートでは、「立場の違う専門職同士、相手の考えている事、困っている事が理解できた」等、対面で多職種と様々な意見交換ができたことに対する満足度が高い回答が多くありました。

「在宅医療・ケアにおける患者・家族からの暴力対策」

講師：北須磨訪問看護・リハビリセンター 所長 藤田 愛氏

日時：令和4年11月26日（土）14:00～16:00 場所：須磨パティオホール 参加者数：37名

講師からは、暴力対策への取り組みを始めることとなった経験の紹介とともに、その後の取り組みと様々な成果（兵庫県訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業等）を教えてくださいました。

暴力の定義と実態、訪問看護の特徴と暴力のリスク・対策を妨げるもの、暴力についての考え方、暴力・ハラスメントについての取り組み、暴力の被害を受けた人の理解と対応について教えてください、その後、多職種でのグループワークを実施しました。ワーク1では「暴力に対する自身の価値基準を知る」として、利用者から暴力のあった事例を用いて、望ましくない行為をした順と、理由について話し合うことで、様々な価値基準があることを理解しました。ワーク2では「KYT（予知トレーニング）」として、事例を用いて、危険因子や具体策、チームでの行動目標を話し合いました。

研修後アンケートでは、「実態を知り、事業所や地域全体で共通認識を持つことが大切だと感じた」。また「自身の認知バイアスについて見直すことができた」「我慢しがちになる意識を変えていきたい」等、暴力に対する意識や認識の変化についてのご意見も多くありました。

あらためまして！医療介護サポートセンターを紹介します！

須磨区医療介護サポートセンターは開設して6年目になりました。「医療介護サポートセンター」は 地域の医療・介護関係者の連携をサポートすることで、安心して暮らせる地域づくりを目指しています。第2回目は、医療介護専門職にご参加いただいている様々な会議を紹介いたします。

【須磨区医療介護推進会議】

各職能団体の代表に参加いただき、情報共有とともに須磨区における医療介護連携の課題の抽出を実施しています。

【在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策の検討会議（Care and Cure会議）】

各現場の医療介護専門職の方々にご参加いただき、課題の抽出とともに、事例検討会の事例や研修会の内容等について検討して頂いています。

【病院地域連携室連絡協議会】

須磨区の病院地域連携室のMSW、看護師にご参加いただき、病院間の情報共有、入退院連携の課題等について話し合っています。テーマによっては在宅の医療介護専門職にもご参加いただき、情報交換を実施しています。

【施設相談員委員会】

須磨区の特養、老健の相談員にご参加いただき、施設間の情報共有、入退所連携の課題等について情報交換を実施しています。

会議で得られた情報や課題については、実態把握や解決に向けて、アンケートの実施や事例検討会や研修の内容として取り入れ、サポートセンターの相談業務、医療介護専門職への提案等に反映させていただいています。

地域の医療介護連携等についての課題やご意見をサポートセンターまでお寄せ頂きますようお願いいたします。

研修のご案内

神戸市医師会須磨区医療介護サポートセンターHP 須磨区のページに案内があります。ご参照ください。

須磨区の救急搬送の現状と今後について
令和5年1月11日（水）15:00～16:30
場所：オンライン（ZOOM）



介護に役立つ医療講座
テーマ「糖尿病」

令和5年1月14日（土）15:00～17:00
場所：オンライン（ZOOM）

